令和6年度

専門学校　神戸国際ビジネスカレッジ

自己評価報告書

令和 7年 5 月 1 日

学校法人　神戸創造学園　専門学校　神戸国際ビジネスカレッジ

1．学校の教育目標

幅広い外国語教育と国際感覚を兼ね備えた人材を養成するための専門教育及び人格形成に必要な教育を行うことを目的に掲げ、国際社会において通用する専門性の高い知識、教養と語学力を修得し、自立した個人として活躍できる人材を育てる。

2．取り組むことが必要な目標や計画

（1）アジアおよびヨーロッパ諸国の学生が共に学ぶ国際色豊かな環境を活かし、異文化理解を深め、協調性を身につけ、語学力（英語・日本語）を向上させ、世界の市場で即戦力となる人材の育成に努めていく。

（2）入学時より日本社会での自立を視野に入れ、留学生については、各種資格試験のほか、日本語能力試験N2/N1を取得きるよう指導を行っていく。

（3）語学教育のレベルアップを目指し、随時教材およびクラス編成の検討及び見直しを行い、学内全体の語学力向上を目指す。

3．評価項目の達成及び取組状況

（1）.教育理念・目標

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
・学校の理念・目的・育成人材像は定められているか	**4** 3 2 1
・社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	**4** 3 2 1
・学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか	**4** 3 2 1
・各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか。	**4** 3 2 1

【総括・特記事項】

・学校の理念・目的・育成人材像について、教職員がしっかり理解し、学生へは授業及びオリエンテーションを通じ伝えている。

・留学生については、日本語教育機関の教職員へ入学式・卒業式への案内状を通じ、式典への列席を促し、当校をより良く知ってもらうようにする。

（2）. 学校運営

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
・目的等に沿った運営方法が策定されているか	**4** 3 2 1
・運営方針に沿った事業計画が策定されているか	**4** 3 2 1
・運営組織や意志決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	**4** 3 2 1
・人事、給与に関する規定等は整備されているか	**4** 3 2 1
・教務・財務等の組織整備など意志決定システムは整備されているか	**4** 3 2 1
・業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4 **3** 2 1
・教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	4 **3** 2 1
・情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4 **3** 2 1

【総括・特記事項】

・年数回の教職員全体会議の他、各科単位の会議を毎月の運営会議を実施している。会議を定例化し、意思決定及び情報の共有化を行っている。

・事業計画を実現するための採用、人事配置、人事異動を適性に実施している。

・学校の目的、目標達成のため、企業との連携を図っている。

・ホームページだけではなく、年間に数回出身学校を訪問し、学生の状況、教育活動に関する情報公開を行っている。

・学生の学籍管理はデータ化されており、出席証明書、成績証明書等の発行業務の効率化が図られている。

（3）. 教育活動

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
・教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	**4** 3 2 1
・教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	**4** 3 2 1
・学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	**4** 3 2 1
・キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか。	**4** 3 2 1
・関連分野の企業・関係施設等や業界団体との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	4 **3** 2 1
・授業評価の実施・評価体制はあるか	**4** 3 2 1
・成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	**4** 3 2 1
・資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中で体系的な位置づけはあるか。	**4** 3 2 1
・人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	**4** 3 2 1
・関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務含む）を確保するなどマネジメントが行われているか	4 **3** 2 1
・関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	**4** 3 2 1
・職員の能力開発のための研修等が行われているか	**4** 3 2 1

【総括・特記事項】

・グループワークやプレゼンテーション、ビジネスマナー、パソコン演習など社会人基礎力を養うキャリア教育を多く取り入れている。

・必要に応じて、講義時間外の資格取得ゼミを実施している。

・地元企業との提携を行い、積極的に外国人人材の採用・就職活動を行っている。

・教員の指導力育成などの資質向上のため、学内研修（教務研修課・学生支援課主導）を実施している。

・入職者に対して当校だけでなく、グループ・学校理念を伝え共有、業務全般の流れを知ってもらう研修を実施している。

・多国籍が進んでいることから、文化の違いを把握した上での学生指導を行っていく。

（4）学修成果

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
・就職率の向上が図られているか	4 **3** 2 1
・資格取得率の向上が図られているか	4 **3** 2 1
・退学率の低減が図れているか	**4** 3 2 1
・卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4 **3** 2 1
・卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	4 **3** 2 1

【総括・特記事項】

・学内で企業説明会を開催し、就職活動を早期にスタートできるように十分に指導している。

・進学・就職に備え、履歴書やエントリーシートの対策、面接指導を実施し、その実施状況について、担任を中心に教職員全体で共有している。

・留学生について、将来の進学及び就職のために日本語能力試験、日本留学試験の受験率向上に努めている。

・年4回のオリエンテーションを通じて出席意欲を高める。また、卒業式・入学式では特別表彰を行っている。

・パンフレットにおいて、就職内定者、進学決定者のインタビューや進路実績を掲載して、学内・学外へ功績を評価し、発信している。

・クラス担任制により学生一人ひとりのきめ細かいケアを行い進路指導の徹底、退学率の低減を行っている。

（5）. 学生支援

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
・進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4 **3** 2 1
・学生相談に関する体制は整備されているか	**4** 3 2 1
・学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	**4** 3 2 1
・学生の健康管理を担う組織体制は整備されているか	**4** 3 2 1
・課外活動に対する支援体制は整備されているか	4 **3** 2 1
・学生の生活環境への支援は行われているか	**4** 3 2 1
・日本語教育機関と適切に連携しているか　※留学生	**4** 3 2 1
・最終学年の学生への支援体制はあるか	**4** 3 2 1
・社会人のニーズを踏まえた教員環境が整備されているか	**4** 3 2 1

【総括・特記事項】

・学内に無線LAN を整備し、就職活動のオンライン面接の増加に伴い、学生に対して要望があれば空き教室を開放することで環境を整備している。

・教務研修課を中心に進路指導の強化を行っていく。主に資格を取得したうえでの進路決定の重要性、大学や専門学校への進学や就職活動の現状など、オリエンテーションや面談指導において指導する。

・出席率の悪い学生においては、クラス担任より保護者・保証人へ連絡を行っている。また、適宜学生の家庭訪問実施し、学生の生活状況把握に努めている。

・定期健康診断を毎年 1 回実施し、異常所見のある学生には再検査の案内をしている。

（6）. 教育環境

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
・施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	**4** 3 2 1
・学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4 3 **2** 1
・防災に対する体制は整備されているか	**4** 3 2 1

【総括・特記事項】

・避難訓練及び防災・被災時に関する座学を実施し、非常時における教職員の役割を把握するとともに、学生へも非常時の行動を指導している。

・災害時で使用する水・非常食・簡易トイレ等を備蓄している。

・Wi-Fi 環境を整備し、ICT 教育に対応できる準備はできている。（2025年8月修繕工事実施予定）

（7）. 学生の受入募集

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
・学生募集活動は、適正に行われているか	**4** 3 2 1
・学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	**4** 3 2 1
・学納金は妥当なものとなっているか	**4** 3 2 1

【総括・特記事項】

・留学生、一般学生募集のあり方を再確認し、日本語学校、海外教育機関、高校への情報発信の頻度を上げて対応する。近年、学生を取り巻く環境の変化が激しく、学生の求めるものも変化している。そのため、学生のニーズに合わせた募集活動を行っている。

・募集案内（パンフレット、ホームページ）は毎年更新し、常に分かりやすさ、見やすさを考えた情報提供に努めている。

・全教職員が学生募集のお問合せに対応できる体制を整えている。

・学校説明会において、教育内容、教育成果を正確に伝えている。

・入学選考方法については、募集要項に明記し、適切かつ公平な基準に基づいて行われている。

・学納金については、本校独自の奨学金や分納制度を利用できるようにし、学習が継続しやすい環境を整えている。

（8）. 財務

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
・中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	**4** 3 2 1
・予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	**4** 3 2 1
・財務について会計検査が適性に行われているか	**4** 3 2 1

【総括・特記事項】

・中長期的に学校の財務基盤は安定している。

・予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっている。

（9）. 法令等の遵守

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
・法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	**4** 3 2 1
・個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	**4** 3 2 1
・自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	**4** 3 2 1
・自己評価結果を公開しているか	4 3 **2** 1

【総括・特記事項】

・法令、専修学校設置基準等を遵守し、適正な運営を行っている。

・全教職員で個人情報の扱いに十分注意し、管理している。また、社用パソコンについては、学外への持ち出しを禁止している。

・自己評価の点検項目ついて今後も検討を重ねていく。

・ホームページにて自己点検・自己評価表の公開を行う。

（11）. 国際交流

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
・留学生の受入れ・派遣について戦略を行っているか	**4** 3 2 1
・留学生の受入れ・派遣、在籍管理等において適切な手続き等がとられているか	**4** 3 2 1
・留学生の学修・生活指導等について学内に適切な体制が整備されているか	**4** 3 2 1
・学習成果が国内外で評価される取組を行っているか	4 **3** 2 1

【総括・特記事項】

・留学生の受け入れは、日本国内の日本語学校であるため、日本語学校への訪問活動や説明会などを頻繁に実施している。

・学生の学修・生活指導において学内で適切な体制が整っている。常に最新の学生のアルバイト先の情報を把握している。

・日本留学AWARDS専門学校（社会・文化系）部門入賞。（財）日本語教育振興会が主催し、日本全国400校を超える日本語学校の教職員が留学生に勧めたい進学先として選出された。

4. 総括

本校の教育理念・目標を学生に徹底して理解・共有させるため、専門教育に加え、定期的なオリエンテーションの実施を今後も継続し、日本社会で自立して活躍できる人材育成を強化していく。

就職指導においては、学内企業説明会を行っていただき、早期から就職に対する意識づけを行うことができた。今後もこの活動を継続していきたい。一方、資格未取得の学生の就職が叶わないケースも数例あり、在学中の資格取得の重要性を認識した年度でもあった。特に、留学生においては技術・人文知識・国際業務ビザの取得には資格が必須である。次年度は、学生にもそれを周知徹底し、教員の指導も強化したい。

目まぐるしく変化する学生・留学生を取り巻く環境にどのように対応していくか、専門学校としてできることは何かを常に模索し、具現化していく必要がある。

そのために、学生募集・教務・学生支援、各担当間で連携して、「国際社会において活躍できる人材の育成」を念頭においた教育を実践し、取り組みを強化していく。